

## 「 岐阜県発日本一、世界一 ~4月~ 」

スポーツ健康課 スポーツ振興担当

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第28回アジア自転車競技選手権大会 男子エリート ケイリン	第2位	H20.4.11	永井 清史	岐阜第一高卒	快調なスタートでトップを走っていたが、ゴール直前でマレーシアのアワンに逆転され、涙をのんだ。 (奈良県奈良市:奈良県営競輪場)
男子エリート チームスプリント	第3位	H20.4.11	永井 清史	岐阜第一高卒	チーム編成は永井清史・長塚智広・新田祐大の3選手。 (同上)
第15回アジア・ジュニア自転車競技選手権大会 男子1kmタイムトライアル	第3位	H20.4.13	森 啓	岐阜第一高卒	5月から日本競輪学校への入校が決まっており、初の国際大会出場ということで力のこもったレース展開で3位に輝いた。 (同上)
第84回日本選手権水泳競技大会兼 第29回オリンピック競技大会代表選手選考会 女子100m平泳ぎ	第2位	H20.4.17	三輪 芳美 (KONAMI)	県岐阜商高卒	オリンピック代表は逃したが、昨年度優勝の田村菜々香(東海大)と同タイム(1'08"55)で2位を分け合った。 (東京都江東区:東京辰巳国際水泳場)
第8回全国ジュニアピームライフル射撃 競技大会 女子立射40発(個人)	第1位	H20.4.27	清水綾乃 (済美高3年)		本戦をトップで通過し、ファイナルも落ち着いた射撃で2位以下を突き放し、トータル503.2点で優勝を果たした。 (岐阜県岐阜市:岐阜メモリアルセンター)
女子立射40発(団体)	第1位	H20.4.27	済美高A (清水綾乃・宮川恵実・橘香奈依)		橘、宮川ともに本戦で396点と高得点をマーク。ファイナル出場の清水の持ち点(398点)が追い風になり、見事団体優勝を果たした。(同上)
男子立射60発(個人)	第2位	H20.4.27	山田 直樹 (郡上北高3年)		本戦2位で通過したが、1位の高橋誠(茂原樟陽高)との2点差をファイナルで逆転することができず涙をのんだ。 (同上)
男子立射60発(個人)	第3位	H20.4.27	齊藤 大樹 (下有知中3年、岐阜メモリアル)		上位を高校生が占める中、中学生として高得点のトータル696.8点をマークし、2位に輝いた。(同上)
男子立射60発(団体)	第2位	H20.4.27	郡上北高A (山田直樹・尾藤俊介・西野雄紀)		山田直樹がチームの原動力となり総合点1769点をマークしたが、2連覇は果たせなかった。(同上)
2008JOC全日本ジュニアレスリング選手権大会 男子カデットの部 グレコローマスタイル46kg級	第2位	H20.4.28	杉本 涼輔 (中津商高2年)		2年生ながら健闘し、2位となった。 (神奈川県横浜市:横浜文化体育館)